２３. 隠元橋周辺の発見　その３ 「人車鉄道」

フェイスブック掲載日 2021/10/15

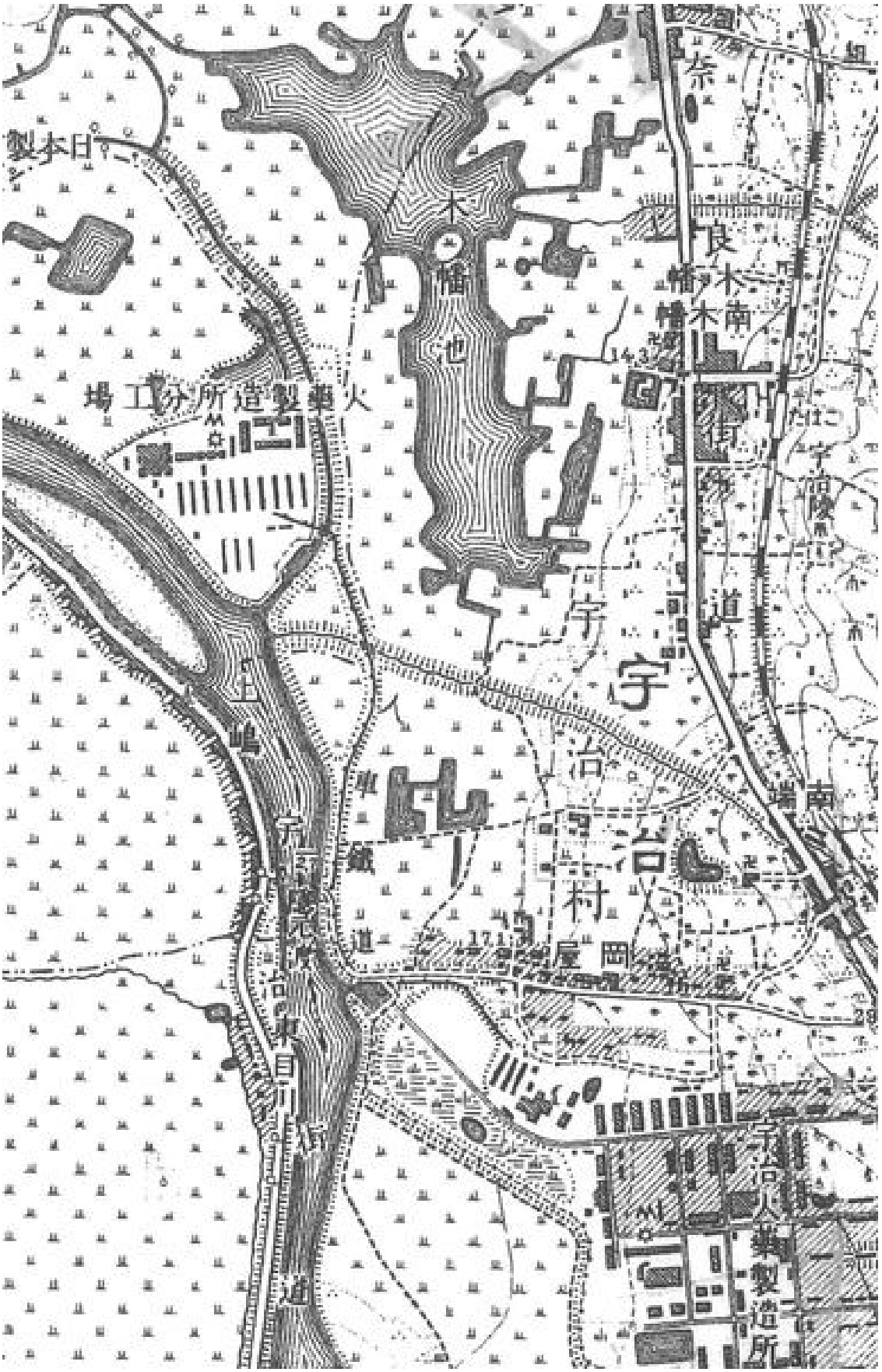
日清戦争を機にできた火薬製造所、日露戦争を機にできた同分工場は、トロッコで結ばれていました。明治 42 年測量の地図に「人車鉄道」とあるのがトロッコ道です。

この時代、製造所内の輸送手段は総てトロッコで、黄檗の火薬庫と製造所もトロッコで繋がっていました。

また、遠方への輸送は宇治川、淀川の水運が頼りでした。輸送基地は隠元渡しでした。地図を見ると、荷揚場から宇治川と繋がっていました。火薬製造所の荷揚場が隠元渡しと一致します。

京都大学名誉教授の西山卯三博士の回想録である「戦争と住宅」で、「日清戦争に際して大阪砲兵工廠傘下に急遽火薬製造所がつくられることになり、黄檗の火薬庫の近くに製造工場がつくられた。生産量が後ほど桁はずれに増加してみると、危険分散のため隔離といったことを考えるようになるが、当時はむしろ製造から貯蔵の連絡の便利さが買われたのであろう。」と述べられています。鉄道が利用されるまでは盛んに宇治川が利用されたのでしょう。

南口駅
桃山町大島
木幡駅
内畑
木幡池
明治42年ごろ
宇治火薬製造所分工場
荷揚場
木幡駅
木幡
人車鉄道
許波多神社
清水町
向島渡シ場町
隠元の渡し
隠元橋
荷揚場
京都文教短大
京都文教大
三十五
陸上自衛隊補給処
宇治火薬製造所


日本製
火薬製造所
工分場
木
幡
池
良
木南
宇
治
村
宇
治
道
南
端
人
車
鐵
道
岡
屋
宇治火薬製造所
宇治東目川
道